

令和 6 年度使用

小学校用教科用図書研究資料（概評）

【理 科】

教科用図書北諸県採択地区協議会

1 教科目標の達成及び単元（題材）の構成・配列等

（観点１） 学習指導要領に示された教科の目標を達成するために、構成・配列等について、どのような工夫が見られるか。

発行者	概 評
2 東京書籍	(1) 単元の目標を達成するために、問題解決の「調べる」段階で「のぼそう！理科の力」を設定し、各学年で重点的に育成する問題解決の力を確実に育成することができるように工夫されている。また、「広げる」段階で「広げよう！理科の発想」を設定し、学習内容を活用した考察ができるような構成・配列の工夫が見られる。
4 大日本図書	(1) 単元の目標を達成するために、「算数科とつなげよう」などを設定し、他教科等で学んだことも生かして学習の理解が深まるように工夫されている。また、単元末で「りかのたまてばこ」、「防災」を設け、学んだことを環境保全やキャリア教育、防災教育などと結び付けて学習できるような構成・配列の工夫が見られる。
11 学校図書	(1) 単元の目標を達成するために、単元の導入では、「できるようになりたい」で、その単元で高めたい資質・能力をしばって設定し、児童自身が身に付けなければならない力を意識できるように工夫されている。また、単元末では「できるようになった」を設定し、導入場面と対応させ身に付いた力を振り返ることができるような構成・配列の工夫が見られる。
17 教育出版	(1) 単元の目標を達成するために、単元の導入では「学習のつながり」を設け、各学年間の関連する既習単元や発展単元を中学校まで示し、学習の系統を意識できるように工夫されている。また、「〇年のチカラ」を設定し、その学年で主に育成する問題解決の力を児童が意識しながら、学習することができるような構成・配列の工夫が見られる。
61 新興出版社啓林館	(1) 単元の目標を達成するために、すべての単元の導入では「思い出そう」を設定し、日常生活や既習内容を振り返ることができるように工夫されている。また、単元導入で「はじめに考えよう」、単元末に「もう一度考えよう」と同じ写真やイラストの問いを設定することで、理解度の変容を実感できるような構成・配列の工夫が見られる。

2 内容や指導の充実

(観点2) 主体的・対話的で深い学びを通して、目指すべき資質・能力を確実に身に付けさせるために、どのような工夫が見られるか。

発行者	概 評
2 東京書籍	<p>(1) 児童が理科の見方・考え方を働かせながら問題を科学的に解決できるように、各場面で主に働かせる見方・考え方を、青枠で囲んだり、キャラクターのセリフで思考や表現の例を示したりしている。また、「1年間をふりかえろう」で、身に付けた見方・考え方を確認できるような工夫が見られる。</p> <p>(2) 生きて働く「知識・技能」の定着を図ることができるように、まとめの文章は箇条書きにしたり、すべて振り仮名をつけたりしている。また、単元末の「たしかめよう」では、学力調査の枠組みに沿った問題を用意することで、児童が知識・技能を確実に習得できるようにするなどの工夫が見られる。</p> <p>(3) 「思考力・判断力・表現力等」を育成できるように、単元導入において、対話的な学びを促す問いかけがあり、事物・現象の比較を通して、他者とかかわりながら考えを深め、問題意識を高めるような場面設定の工夫が見られる。</p>
4 大日本図書	<p>(1) 児童が理科の見方・考え方を働かせながら問題を科学的に解決できるように、各学年の巻頭に理科の考え方を意識するきっかけとなる見開きを設定している。また、問題発見や考察の場面では理科の見方につながる着目点として、「ココに注目」を設け児童自身で見方を働かせるなどの工夫が見られる。</p> <p>(2) 生きて働く「知識・技能」の定着を図ることができるように、巻末の「〇年までの学びとつなげよう」では、下位学年と当該学年の学習内容の関連を示したり、複数の単元の学習内容をまとめた「学びをリンク！」で関連を確認できるようにしたりするなどの工夫が見られる。</p> <p>(3) 「思考力・判断力・表現力等」を育成できるように、問題設定の場面における「ココに注目」では、事物・現象をとらえる視点が示してあり、その視点を基に他者との対話を通して問題を焦点化するような設定の工夫が見られる。</p>

11 学校図書	<p>(1) 児童が理科の見方・考え方を働かせながら問題を科学的に解決できるように、巻頭にその学年で学ぶ理科の見方を領域ごとのゴーグルで表すことで、具体的な見方も示している。また、学年で働かせる考え方も示され、本文中でもキャラクターにこれらの考え方を意識した発言をするような工夫が見られる。</p> <p>(2) 生きて働く「知識・技能」の定着を図ることができるように、「ふりかえろう」の活用場面で身近な内容に置き換えて説明することで、知識・技能の定着を確かなものとする工夫がなされている。器具の使い方では注意点を多くの写真等で示し、理解しやすくするなどの工夫が見られる。</p> <p>(3) 「思考力・判断力・表現力等」を育成できるように、観察・実験後に考察の視点が端的に整理して示されており、その視点を基に個人思考を行ったり、他者との対話を行ったりすることを通して結論を導く構成となっており表現の場などの工夫が見られる。</p>
17 教育出版	<p>(1) 児童が理科の見方・考え方を働かせながら問題を科学的に解決できるように、「自分たちの考えを伝え合い、学び合おう」を巻頭に設け、考え方を話型で示している。また、見方・考え方を働かせている児童の発言例に「見方のカギ」、「考え方のカギ」のマークを付けるなどの工夫が見られる。</p> <p>(2) 生きて働く「知識・技能」の定着を図ることができるように、第4～6学年の巻頭に、「○年で学んだこと」を設け、児童が前学年で習得した知識をいつでも繰り返し用いることができるようにするとともに、「確かめよう」では関連するページの該当箇所を具体的に示すなどの工夫が見られる。</p> <p>(3) 「思考力・判断力・表現力等」を育成できるように、観察・実験の結果をもとに考察する場面では、キャラクターを活用して予想や検証方法の妥当性を考える場面が設定してあり思考のモデルを示すなどの工夫が見られる。</p>

61 新興出版社啓林館	<p>(1) 児童が理科の見方・考え方を働かせながら問題を科学的に解決できるように、巻頭の「理科を楽しむ見方・考え方」で、見方・考え方を端的に例示している。また、巻末の「理科の見方・考え方が役に立ったよ!」では、見方・考え方が日常生活でも役立つ場面を紹介するなどの工夫が見られる。</p> <p>(2) 生きて働く「知識・技能」の定着を図ることができるように、単元導入や本文中の適所に「思い出そう」を設定し、既習事項や日常経験を確認・共通理解した上で、単元の学習を進めるとともに、単元末の「くらしとリンク」では実生活と関連した題材を扱うなどの工夫が見られる。</p> <p>(3) 「思考力・判断力・表現力等」を育成できるように、単元導入でパフォーマンス課題を設定し、児童が課題意識をもって学習に取り組み、単元の学習後に導入と同じ課題を考えさせる場面が設定されており、知識の活用場面などの工夫が見られる。</p>
-------------	--

3 利便性の向上

(観点3) 学習効果や使用上の利便性を高めるとともに児童にとって分かりやすいという視点から、どのような工夫が見られるか。

発行者	概 評
2 東京書籍	(1) 学習効果や利便性を高め、分かりやすいものにするために「観察」及び「実験」では、拡大した写真や絵、図が提示されており、細部や動植物のつくりが明確で分かりやすく、児童が主体的に問題解決に取り組みながら、観察や実験ができるような工夫が見られる。
4 大日本図書	(1) 学習効果や利便性を高め、分かりやすいものにするために、単元の導入は見開きで構成し、学習問題を見いだすページを設け、生活経験を基にした児童の気づきや吹き出しを提示することで、主体的に学習問題を見いだすことができるような工夫が見られる。
11 学校図書	(1) 学習効果や利便性を高め、分かりやすいものにするために、理科の見方・考え方及び育成すべき資質・能力が問題解決の各場面で「理科モンスター」として示されており、当該学年でどのような力を身に付ければよいか確認しながら学習できるような工夫が見られる。
17 教育出版	(1) 学習効果や利便性を高め、分かりやすいものにするために、単元ごとに学習者のモデルが設定されており、児童が主人公と自分を重ね合わせながら、学んでいく過程を通して、問題を科学的に解決していく力を自然に身に付けられるような工夫が見られる。
61 新興出版社啓林館	(1) 学習効果や利便性を高め、分かりやすいものにするために、理科の学習をベースに、技術やものづくり、アート、数学的な発想を組み合わせた題材を配置し、実社会での問題発見、解決に生かすSTEAM教育を紹介し、教科横断的な視点が養われるような工夫が見られる。

4 地域の願いや思い、児童の実態等

(観点4) 本地区の児童の実態や課題に対応し、児童に身に付けさせたい資質・能力を育てるために、どのような工夫が見られるか。

発行者	概 評
2 東京書籍	<p>(1) 問題を見つけたり、解決の方法を発想したりする力を身に付けさせるために、単元導入で簡易的な体験や写真、自然現象に触れる活動を通して疑問を引き出し、問題をつかませ、児童に主体的に学ばせるような工夫が見られる。</p> <p>(2) 自然の事象・現象に主体的に関わらせ、理科の知識・技能を身に付けさせるために、単元導入と単元末で同じ問いについて考える「学ぶ前に」、「学んだ後に」があり、児童が成長を実感し自己肯定感を高め理科学習を楽しめるような工夫が見られる。</p>
4 大日本図書	<p>(1) 問題を見つけたり、解決の方法を発想したりする力を身に付けさせるために、単元導入では、ページ全体に広がるインパクトのある写真に加え、「ココに注目」で理科の見方に関わる着眼点を示し、科学的な問いの設定に導くような工夫が見られる。</p> <p>(2) 自然の事物・現象に主体的に関わらせ、理科の知識・技能を身に付けさせるために、単元末の「りかのたまてばこ」で生活との関連を図ったり、多くのページにある二次元コードを活用して個別の学びをサポートしたりするような工夫が見られる。</p>
11 学校図書	<p>(1) 問題を見つけたり、解決の方法を発想したりする力を身に付けさせるために、単元導入で「問題を見つけよう」を設定し、領域の特徴に応じた見方や、資質・能力をマークやキャラクターのイラストで表し、楽しみながら学ばせるような工夫が見られる。</p> <p>(2) 自然の事物・現象に主体的に関わらせ、理科の知識・技能を身に付けさせるために、単元末の「やってみよう」の発展内容や「考えよう調べよう」での学び方や器具の操作技能に関する巻末資料により、学習内容の理解を深めるような工夫が見られる。</p>
17 教育出版	<p>(1) 問題を見つけたり、解決の方法を発想したりする力を身に付けさせるために、単元導入の「見つけよう」で問題発見に至る過程を対話のモデルや活動で示すことで科学的に検証可能な「問題」を児童自身が主体的に設定できるような工夫が見られる。</p> <p>(2) 自然の事物・現象に主体的に関わらせ、理科の知識・技能を身に付けさせるために、問題に即した明確な結論の提示や「ふり返ろう」と「確かめよう」の見開きでの表示、重要語句の色網掛けなど、学習内容の定着を図るような工夫が見られる。</p>

61 新興出版 社啓林館	<p>(1) 問題を見つけたり、解決の方法を発想したりする力を身に付けさせるために、単元導入では「思い出そう」、「はじめに考えよう」で論理的思考を促したり、キャラクターの問いかけで実験方法を主体的に考えさせたりするような工夫が見られる。</p> <p>(2) 自然の事物・現象に主体的に関わらせ、理科の知識・技能を身に付けさせるために、「実験サポート」、「たしかめよう」の二次元コードで学びをサポートしたり、「くらしとリンク」で理科の意義や有用性を意識させたりするような工夫が見られる。</p>
-----------------	---